

「街づくりに大切なつながりを！」

ウィルあいち交流ネット参加グループ

近年、少子高齢化、核家族化など生活様式が多様化し、地域の交流が少なくなり、暮らしの中で不安を感じるが多くなっています。そうした中、「お互いに協力し、支えあい安心・安全な住みやすい地域をつくること」を多くの人々が望んでいるそうです。しかし、地域のつながりが希薄化しているのも事実です。

また、原発、震災、いじめや高齢者問題など様々なことが多発し、他者責任では過ごせない今日でもあります。私たちが安心、安全な街づくりをするには、自分たちで出来ることや近所、学校、企業や行政などが協力し連携することが大事ではないでしょうか。

哲学者パスカルは「人間は考える葦である」、人間は弱い存在であるが、ものを考える特殊性によって、弱気も克服できる。人任せでなく考えることで話すことができ、交流の場が広がる。多様な経験、思想や意志を伝え、理解する努力と協力でつながりの一歩を始めましょう。



グループ・キートス

伊藤夫沙恵

- *さわらび会
- *メンズリブ名古屋
- *ア・コール
- *女性学'98の会
- *IPA
- *メディアの会かたつむり
- *ウィル10
- *A・B・C・Net
- *C・C・C
- *グループ・キートス
- *クラリネット'99
- *2000女性学の会
- *ウィル2000
- *I. W. L
- *ウィル・ミニ・ボックス
- *めだかつこ
- *ウィルD○2002
- *平成いちご会
- *きらら2005
- *サーティネット '05
- *ベリーズ18
- *Step07
- *トライアングル '08
- *まちづくりファシリテーター勉強会
- *Fem.'09
- *Amelie'10
- *なでしこAICHI

ウィルあいち交流ネットとは…

ウィルあいちセミナー等の受講修了生による自主活動グループで組織された団体です。

地域における男女共同参画の推進について

基本計画に、平成20年10月に男女共同参画会議基本問題専門調査会が取りまとめた「地域における男女共同参画推進の今後のあり方について」が反映されています。

地域における男女共同参画を推進するに当たっては、地方公共団体や男女共同参画センターだけでなく、各種課題解決に有効なノウハウやつながりを持つ、地域の多様な主体の参画が必要です。

さらに地域活動に積極的に参加するための、地域社会で仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）にむけた環境整備等の配慮も必要です。

地域については、「基本計画第14分野」において「地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進」が新たに掲げられました。地域における男女共同参画の現状と課題については、目標値が設定されている項目（下表参照）について、計画策定時から現在に至るまでの経過を見ても女性の登用が進まず、地域の現場では、女性が意思決定の場に参加することが難しい問題であることがわかります。

基本法施行後、地域における男女共同参画の推進は、（1）固定的な性別役割分担意識が未だに根強い、（2）地域や地域の人々の課題解決のための取組に男女共同参画の視点が十分活かされていない、（3）地域における活動の参加については性別、世代に偏りがある、（4）地域において女性が実際に活躍できる場が乏しい、といった問題を抱え、男女共同参画が必ずしも順調に進んでいない状況が見られます。

このような状況を打開するためには、「地域」や「地域の人々」が抱える幅広い分野の課題を取り上げ、男女共同参画の視点を活かしつつ、多様な主体が連携・協働しながら課題を解決する「実践的活動」に重点を置く取組が必要です。

男女共同参画の推進に当たっては、まずはコミュニティの基本である「地域」から推進することが必要です。国や地方公共団体などの行政は、地域のリーダーとなる女性を育成する研修や一般市民への啓発事業等を行ってきていますが、実際に地域で活躍する女性は未だ少ない状況にあります。

このため、2020年までに、あらゆる分野で指導的地位に占める女性の割合が、少なくとも30%程度となることを目指す「202030」や「新しい公共」の実現、地域活動における女性参画の促進を図ることにしています。

基本計画における成果目標等の動向

※男女共同参画白書（平成24年版）から加工して作成

| 成果目標等 | 成果目標（期限） | 計画策定時の数値 | 最新値 |
|---------------------|----------------|--------------------|-----------------------|
| 自治会長に占める女性の割合 | 10% （平成27年） | 4.1% （平成22年） | 4.3%（注） （平成23年） |
| 女性委員のいない都道府県防災会議の数 | 0 （平成27年） | 13 （平成21年） | 6 （平成24年） |
| 全国の女性消防団員 | 10万人 | 19,043人 （平成22年） | 19,577人（注） （平成23年） |
| 日本PTA全国協議会役員 | — | 8.7% （平成21年） | 0% （平成23年） |
| 都道府県・政令指定都市PTA協議会役員 | — | 6.6% （平成22年） | 4.9% （平成23年） |
| PTA会長（小中学校） | — | 10.5% （平成22年） | 10.9% （平成23年） |

（注）東日本大震災の影響により、一部の自治体のデータは含まれていない。

内閣府 共同参画12月号より抜粋

[編集後記]

寒さもひとしお厳しくなってきました。

風邪をひいている方をよく見かけます。体調管理には十分気をつけてください。

編集発行：ウィルあいち交流ネット

編集協力：（公財）あいち男女共同参画財団

企画協働課協働担当